

資料館だより

発行所

高松宮記念ハンセン病資料館
〒189 東京都東村山市青葉町4-1-13
電話 0423-96-2909
FAX 0423-96-2981
郵便振込 東京-3-764159
高松宮記念ハンセン病資料館運営協力会



埼玉県立近代美術館が所蔵する「病醜のダミアン」像を、当資料館に借り受けられないものかという提案は、発足の当初からすでにありました。



高松宮記念ハンセン病資料館
運営委員長 成田 稔

「ダミアン」像の 見方と考え方

という思いも重なり、何となく釈然としないところがありました。

ところが昨年の九月二十日にはじめてこの像を見てからというもの、何とかして借り受けたいという思いにかわりました。

「病醜のダミアン」像のモデルは神父の最後を看取ったスイフト医師が、死の三カ月前に撮影した写真ではないかと思われまふ。神父はこの二カ月後には寝たきりになりましたから、写



真の頃でもやっと立てるくらいであったはずですが、それでもこのような立ち姿でいられたのは、「神父自身を含めて」われらハンセン病患者は……と、同病者とのきずなをいつそう深めるために働くことが神の思召と確信していたからでしょう。

しかし神父がきずなを求めた同病者たちは、この像のように病が重くなると、苦しみの余り横たわつてうめくだけであつたに違いありません。

日本のハンセン病に対する偏見と差別的犠牲者は、「病醜のダミアン」像と同じような苦痛にさいなまれた人々でした。それであれ

ばこの像を見た人は誰もが病人が苦しい上に、さらにむちうたれるむごさを改めて考えることでしょう。

いま私は、

美術館よりも資料館に置かれたほうが望ましい——とすら思っています。

「ダミアン」像の

展示終わる

資料館では十一月一日より十二月二十日まで、一階ロビーに「ダミアン像」を展示し、来館者に見てもらうとともに、その間、ビデオホールで「ダミアン神父」のビデオ(31分)も随時映写を行い、観覧者に感動を与えました。

母娘巡礼像

資料館へ

世界ハンセン病友の会(事務局・東京、三輪照峰代表)が、四国霊場七十五番札所の香川県善通寺に建立(平成五年十一月二十六日)した「母娘巡礼像」が、大島青松園自治会との約束により、十二月二十四日、東京の高松宮記念ハンセン病資料館に移動、一階ロビーに設置され来館者に見てもらうことになりました。

来館者6千人を超す 看護学校など4割は団体

ております。

十一月一日より三日までの全生園まつり(文化祭)開催期間中は、午前中も開館したところ、三日間で四三八人の来館者がありました。一日の最高入館者数は四団体が訪れた十月二十六日の二九三人でしたが、十一月三日は団体は一つもありませんでしたが、二三九人が来館しました。来館者の四〇%は団体によるものですが、九月以降

資料館が開館してから早や半年が経ちました。十二月十日までの来館状況は次の通りです。

開館日数 一・二六日
入館者数 六〇八五人
一日平均 四八八
団体来館者数 八一団体
以上となつ

の主な団体は、愛知県婦人会、茨城県婦人会、曹洞宗宗務庁(4回)一三八人、下井草教会、市内各町福祉協力会、真宗教恩会、秋田県結核予防婦人会、甲府花みずきの会、ベトレム修道院、立教大学山田ゼミ、東村山ロータリークラブ、横浜メゾン、杜の会作業所、上智大SSSA、東村山市緑を守る協議会(六八八)、第五中学校(二百人)の皆様は、空缶や古新聞回収の代金、五四二五円を運営資金に寄附して下さいました。

団体で一番多いのは看護学校関係ですが、九月以降は、東埼玉病院(四〇人)千葉看護専門学校(六一人)、東京第二病院(四七人)、習志野病院(五五人)、米子病院(三〇人)、入間看護専門学校(四八人)、杏林大学附属看護学校(2回・四一人)、三井記念病院(2回・八〇人)、栃木県森病院(三三人)、慈恵大看護専門学校(八一人)など、附属、又は専門の看護学校生たちです。

療養所関係では九月に、十才、石館先生は九十才を過ぎ、なお豊饒とされていましたが、お互いにかつて、こうした日が来ようと誰が予想できたでしょうか。

「ハンセン病資料館・小笠原登」出版

この程、藤楓協会より大谷藤郎著「ハンセン病資料館・小笠原登」が出版されました。この本は、NHKラジオと教育テレビで放映されたものに若干加筆、訂正を加えたもので、内容は

プロミン合成の 石館先生来館

東大薬学教室の教授であった一九四六(昭和二十一)年四月、わが国で最初にプロミン合成に成功した石館守三先生が十月二十五日資料館を訪問されました。その際、プロミン治療第一号となった全生園入所者のミナトさんと往時をなつかしみ歓談されました。ミナトさんは八



生園を訪れたものです。栗生、駿河、十月には松丘、菊池より親善交流に来園された一行が資料館を訪れました。個人でも市内より市外や他都県よりの来館者はるかに多い状況です。

采館者の声

豊富な資料で学習

作品の中に希望と命

自由業 61歳(男)

豊富な資料で学習させられました。

患者への献身的な努力をされてきた人たちのいたこと、患者自ら、差別と貧困に耐えながら人権確立のため闘ってきた歴史などを改めて認識することができました。

43歳(女)

見てまわるうちに悲しみで涙ができました。もつと多くの人に観てほしいと思いました。

主婦 66歳(女)

何年か前になりました、叔母が戦争中長島愛生園に看護婦として勤めていました。光田園長、内田医師、

中学生 13歳(男)

小川医師、明石海人の名を幾度も聞かされました。(昭和16・17年頃) 今日伺ってかなりよくわかりましたが、更に行く度かゆつくりと拝見したいと思います。

学生 16歳(女)

留置所や昔のたたみの家などをみて、本当に昔の人のつらさが心に沁みてきた。今の私では考えられない程の生活、差別で本当に心

主婦 45歳(女)

がいたんだ。決してこのことを忘れてはならないと感じた。

33歳(男)

「雑居部屋」などのほか、強制隔離と貧困と戦争の時代を物語る品々と、患者専用留置所(6)「年表に沿って」があり、(7)「温泉木管と勝手用品」、(8)「作業用品」、(9)「文学に生きる」があり、(10)「生活と文化」と「生き甲斐を創る」等それぞれのコナーを含めて十枚、一組み三百五十円で、年明け早々から販売することになっています。

主婦? (女)

す。資料も有意義です。年表も参考になりました。回りの緑もきれいです。あまりにも重いものを感じ言葉にできないような気持ちもおこりました。

看護婦 55歳(女)

患者さんたちが作った作品の中に、彼らの希望と命を感じたものを集められましたね。

宣教師たちの奉仕の心、愛の精神に頭がさがりました。

館内の展示品は通常、撮影を禁止しているためもあり、一部の入館者から強く望まれていた絵はがきを発行することにしていました。が、写真構成によって漸く出来上がりました。

既にお馴染みになっている資料館正面の写真でケースを飾り、内容は①「皇室コナーをはじめ、②「一遍上人絵詞伝」と忍性菩薩ゆかりの北山十八間戸を組

絵はがきが完成
年明け早々に
発売へ

わりに遣われた各園の園(院)内通用券の一覧表や⑤十二畳半一室八人が定員であった頃の再現された



東村山五中生

資料館見学の感想

十月二十六日、東村山市第五中学校二学年生二百人が先生に引率されて資料館に来ました。その時の感想文を沢山頂きましたが、その中より三点を紹介します。

二年 M・I 男

今日の5、6時間目に全生園のハンセン病資料館へ行った。資料館の中には再現された十二畳半一室八人が定員の頃の雑居部屋や、ハンセン病行政に大きな影響を与えた光田健輔の絵など、ハンセン病に関するすべてがありました。他にもビデオを見たりとかしたしけっこう楽しかった。ビデオの内容もなかなかよかったです。——略——

二年 S・S 男

ハンセン病、友達に聞いた時は、ハンセイシ病(半生死病)と聞え相当重い病

気だなと思った。しかし名前こそ違っていたが重い病気であることに違いはなかった。更に今日の見学を案内してくれた人が、ハンセン病の経験者であるということをも本人が言うまで気付かなかった。もしかすると、みんな気付かなかったのかも知れない。なのになぜ自らその事をみんなの前で言ったのだろうか、今日の最大の疑問である。

二年 M・S 女

また、このハンセン病が前略——一度資料館を見に行きたいと計画していましたが、思いがけず親善交流があつて早く実現し嬉しく思いました。多磨なればこそできたのだと思います。もう少し早かったら、もっと沢山の資料があつたで

また、このハンセン病が

前略——一度資料館を見に行きたいと計画していましたが、思いがけず親善交流があつて早く実現し嬉しく思いました。多磨なればこそできたのだと思います。もう少し早かったら、もっと沢山の資料があつたで

二年 S・S 男

ハンセン病、友達に聞いた時は、ハンセイシ病(半生死病)と聞え相当重い病

不治の病であつた頃に行われたかく離策は間違つていなかったと思う。当時はそれしか策がなかったのだから。ハンセン病をはじめ、重い病気にかかっている人々に対し、正直言つてまだ偏見の目を持っている。これからそれをなくす事が自分の義務であるということとを強く感じた。

二年 M・S 女

わたしは資料館で一番印象的だったのは「藤本事件」の藤本松夫さんのことでもかわいそうに思いました。資料館に行つて、つくづく考えたことは差別のことです。なぜ差別などする

二年 M・S 女

わたしたちは資料館で一番印象的だったのは「藤本事件」の藤本松夫さんのことでもかわいそうに思いました。資料館に行つて、つくづく考えたことは差別のことです。なぜ差別などする

また、このハンセン病が

前略——一度資料館を見に行きたいと計画していましたが、思いがけず親善交流があつて早く実現し嬉しく思いました。多磨なればこそできたのだと思います。もう少し早かったら、もっと沢山の資料があつたで

二年 S・S 男

ハンセン病、友達に聞いた時は、ハンセイシ病(半生死病)と聞え相当重い病

のだろうと思ひました。差別をすることで人を何人もきずつけていたりするので。ハンセン病の人達はともつらい思いをしたと思います。わたしは、ハンセン病資料館で学んだことを頭のかたすみに残し、「差別」のことをいろいろ考えていきたいと思つています。

二年 M・S 女

わたしは資料館で一番印象的だったのは「藤本事件」の藤本松夫さんのことでもかわいそうに思いました。資料館に行つて、つくづく考えたことは差別のことです。なぜ差別などする

二年 M・S 女

わたしたちは資料館で一番印象的だったのは「藤本事件」の藤本松夫さんのことでもかわいそうに思いました。資料館に行つて、つくづく考えたことは差別のことです。なぜ差別などする

また、このハンセン病が

前略——一度資料館を見に行きたいと計画していましたが、思いがけず親善交流があつて早く実現し嬉しく思いました。多磨なればこそできたのだと思います。もう少し早かったら、もっと沢山の資料があつたで

二年 S・S 男

ハンセン病、友達に聞いた時は、ハンセイシ病(半生死病)と聞え相当重い病

資料館日誌

10月1日 資料館だより第一号、一五〇部発行

10月5日〜30日 研修展示室で看護学校生による「全生園の緑を考える」展示会を行なう。

11月1日〜12月21日 ダミアン神父像を借用展示

11月6日 愛盲報恩会発行の「道ひとすじ」昭和に生きた盲人たち一冊寄贈される。掲載された盲人一〇〇人の中に、明石海人と村越化石さんが紹介されている。

11月4日〜12月5日 リハビリテーション科のお世

話で全生園の入園者の陶芸、籐細工、編物展を開催

11月11日 山梨県春日居町郷土館(小川正子記念館)の運営委員十名が来館

12月3日 当資料館の関係者十一名が春日居町郷土館(小川正子記念館)の見学に行く。

資料館では「ダミアン神父」31分のビデオと、映画「小島の春」90分のビデオ及び、各園のビデオ(各30分)等を希望に応じて随時放映しております。

委託販売書籍(追加分)

風と海のなか 邑久光明園 入園者八十年のあゆみ 孤島 一・二集 崔 南龍 らい予防法と患者の人権 島 比呂志 星塚

小川正子と小島の春 清水 威

あとがき

師走の風に資料館周辺は桜や楓などの落葉のじゅうたん。開館して運営委員も館員も無我夢中の半年間。新年を迎えて、さて今年への期待は……。 (佐川)

11月4日〜12月5日 リ

ハビリテーション科のお世

話で全生園の入園者の陶芸、籐細工、編物展を開催

11月11日 山梨県春日居町郷土館(小川正子記念館)の運営委員十名が来館

12月3日 当資料館の関係者十一名が春日居町郷土館(小川正子記念館)の見学に行く。

資料館では「ダミアン神父」31分のビデオと、映画「小島の春」90分のビデオ及び、各園のビデオ(各30分)等を希望に応じて随時放映しております。

委託販売書籍(追加分)